# たくさんの出会いと経験で子どもたちの”生きる力”を育みたい

子どもの居場所づくりに取り組む

## 岡本 麻美さん（下新町）

**おかもと あさみ**

昭和50年２月生まれ。販売や事務などの仕事の傍ら22歳から書道を始め34歳で師範を取得。平成30年に自宅で「おかもと書道教室」と学童保育の「放課後のこどもの居場所　こどもプレイス･つなぐ」を開所。令和元年に子ども食堂、令和２年に地域の学習支援プロジェクトを始める。自身も高校生と小学生の子どもを子育て中。

▲地域の学習支援プロジェクトで、ピザ作りに挑戦する子どもたち

▲地域の学習支援プロジェクトで配る昼食の調理に高校生ボランティアらが協力

お人よし

人吉で輝いている人

「家でも学校でも話せないことを、話せるような場になれば」。書道教室や学童保育、子ども食堂、学習支援などを行い、子どもの居場所づくりに取り組む。

子育てをする中で、持病を持つ我が子の預け先探しに苦労した。「同じように困っている人がきっといるはず。それならば、自分が受け入れる場所を作ろう」。以前から子どものサポート活動に興味を持っていたこともあり、一念発起し書道教室と学童保育を開所。夏休みなど長期休暇中の親の弁当作りの負担が軽減できたらと、子ども食堂も始めた。

令和2年7月豪雨と、新型コロナウイルス感染症の影響で減った子どもたちのコミュニティづくりの場になればと、大信寺（南泉田町）で月に1回「地域の学習支援プロジェクト」を開催。学校も学年も違う約30人の小中学生が集まり、木工遊びやバケツ稲作りなどの体験や交流を楽しむ。運営にはお寺や近所の人、高校生などのボランティアが協力。「全ての活動は、周りの人たちの協力があってこそ。子どもたちだけでなく、関わる人みんなが楽しんでくれたらうれしい」。

今後の目標は、活動を継続していくこと。地域や人とのつながりが薄くなることに歯止めをかけ、困ったときに助け合えるような関係の構築を目指す。



# 今月のPICK UP NEWS！

## 川下りの運航開始祝う春の祭り

人吉球磨に春の訪れを告げる球磨川くだりの川開き祭が、3月11日にHASSENBA（下新町）で開催されました。新型コロナウイルス感染症と豪雨災害の影響で4年ぶりの開催となり、川下りの安全を祈願する神事や式典には行政・観光関係者約50人が出席。式典では、球磨川くだり株式会社の瀬﨑公介社長が「川下りを継続して、まちの発展、復興に貢献していきたい」とあいさつしました。

式典後は、国と熊本県、本市が進めるまちづくりと連携した河川環境整備事業「かわまちづくり」によるイベントを開催。人吉高と球磨工高カヌー部の試走会やマルシェ、歌や踊りなどの披露があり、会場一体で川下りの運航開始を祝いました。

招待客を乗せHASSENBAを出発する２艘（そう）の舟（上）／新しい木造船「蒲公英（たんぽぽ）」を初めて川に下ろす進水式。クレーン車でつり上げる様子を多くの人が見守った（左下）／球磨川と人吉城跡をバックに歌や踊りが披露された（右下）

CONTENTS

広報ひとよし
NO.1164

2023 APR 4


03 お人よし
04－15 施政方針
16－17 話題をおって
18－19 令和２年７月豪雨からの復旧復興状況
20－21 市税などの納付がますます便利になりました
22 ４月から市役所の組織が変わります 一部の行政手続きがオンラインで申請できます
23－31 情報ひろば
32 ひとよしのお仕事file Let’s フレイル予防
33 地域防災官の命を守る話 ふるひと どぎゃんね
34 はい、こちら消費生活センターです 保健センター子育て通信
35 教えて！ マイナちゃん 市長日記
36 ようこそとしょかんへ！
37 みなさんからのおたより／hitoyoshigram（ヒトヨシグラム） 編集後記
38 ひとよしの情報発信・各種相談ガイド
39 休日在宅医・当番薬局・行事カレンダー
40 令和５年度保存版　祝日などの家庭ごみ収集カレンダー


※今月の「わが家の愛（アイ）ドル」はお休みです。

### 今月の表紙

３月11日に行われた川開き祭で球磨川くだり（清流復興コース）に体験乗船した招待客。HASSENBAからくまりば（相良町）まで、2.5キロメートルの船旅を楽しみました。